

第7回川崎郷土・市民劇



古江亮仁

生田緑地に日本の故郷を
壮大なロマンを実現させた
男のドラマ

作 小川信夫
演出 鈴木龍男(前進座)



写真 小池 汪

日本民家園 ものがたり



アルテリッカしんゆり 2019

入場料

当日券は
各300円増

前売り 一般 2,900円 親子券 3,500円(親と小中学生)
指定席券 3,600円(前売りのみ)

学生・障がい者 1,000円

2019年《5月》公演日・開演時間

(いずれも開演 30 分前より開場)

10日(金) 18時30分 / 11日(土) 14時
12日(日) 14時

多摩市民館

18日(土) 14時 / 19日(日) 14時

エポックなかはら

主催：川崎郷土・市民劇上演実行委員会 共催：川崎市／川崎市教育委員会／(公財)川崎市文化財団

後援：川崎市観光協会／川崎商工会議所／川崎市総合文化団体連絡会／川崎市国際交流協会

お問合せ先：川崎郷土・市民劇上演実行委員会事務局

電話&FAX 044-555-0588

〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー 5階 川崎市文化財団内



日本民家園 ものがたり

生田緑地に 心のふるさとが生まれた

日本を代表する古民家の集落、日本民家園は川崎が誇る文化遺産で、52年前の1967年に誕生した。しかし、それは信じがたいほどの紆余曲折を経て誕生したのだった。川崎の古民家、伊藤家が県の文化財審議会の決定によって横浜の三溪園に移されることになった。県が一度決めたことをそう簡単に覆せるはずがない。しかし、当時、市の社会教育文化担当だった古江亮仁は川崎への返還を求めて立ち上がる……。

昭和30年代、川崎は地方から働きに来た労働者で溢れていた。心のよりどころを求める人々にとって民家園は心の故郷でもあった。民家園誕生の秘話を、ドキュメンタリー映像や地方の民謡、沖縄の伝統舞踊などを交えながら描く壮大なドラマ。

◆スタッフ

作・構成 小川信夫
 演出 鈴木龍男 (劇団前進座)
 美術・衣裳 佐々波雅子
 音楽 日高哲英
 照明 坂本義美
 音響効果 山北史郎
 映像 小池 汪
 大道具 ステージファクトリー
 伊藤 厚
 小道具 護 柔一
 衣裳協力 京浜協同劇団
 舞台監督 TAKE4
 演出助手 柳沢芳信・藤井康雄
 制作 城谷 護
 制作助手 関 昭三・柴田 昇
 企画・制作 上演実行委員会

◆川崎郷土・市民劇上演実行委員会

顧問 齋藤 文夫
 川崎市観光協会会長
 実行委員長 藤嶋とみ子
 川崎市総合文化団体連絡会顧問
 副実行委員長 原島 弘
 多摩区観光協会 顧問
 副実行委員長 藤田 力
 教育活動総合サポートセンター 前理事長
 事務局長 関 昭三 川崎市民劇場 元代表幹事

◆川崎郷土・市民劇とは

川崎郷土・市民劇は、川崎の歴史や人物を劇化し、公募の出演者、プロのスタッフによって2年ごとに上演しているもので、これまで12年間に6作品が上演されました。観客は毎回3,000～4,000人の大イベントです。

前回(2017年)「南武線誕生物語」の舞台



写真 小池 汪



多摩市民館

5月10日(金)18:30 / 11日(土)14:00 / 12日(日)14:00
 (開場は開演の30分前)
 小田急線「向ヶ丘遊園」駅下車 徒歩5分 TEL:044-935-3333

エポックなかはら

5月18日(土)14:00 / 19日(日)14:00
 (開場は開演の30分前)
 JR 南武線「武蔵中原」駅下車 徒歩1分 TEL:044-722-0185

チケット取扱い

川崎文化会議 (川崎市) 044-244-7481 京浜協同劇団 (幸区) 044-511-4951 アートセンター(麻生区) 044-955-0107
 ラゾーナ川崎プラザソル (幸区) 044-874-8501 川崎市民劇場なかはら(高津区) 044-455-7950 ホームページから CoRic (こりっち)で

前売り

一般 2,900円 親子券 3,500円(親と小中学生) 学生・障がい者 1,000円(当日券は各300円増) 指定席券 3,600円(前売りのみ)

お問合せ先 **川崎郷土・市民劇上演実行委員会事務局** 電話&FAX **044-555-0588**

ホームページ [川崎郷土・市民劇](#) [検索](#)

E-mail:k.shimingeki@gmail.com